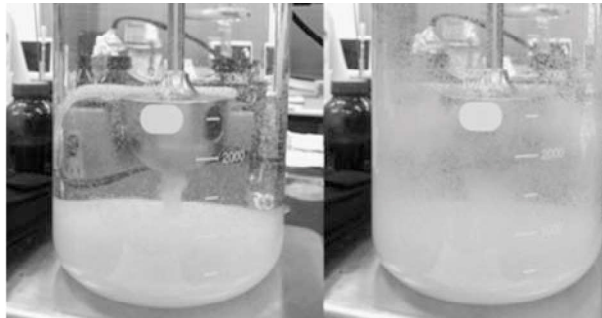


# ペプチド生産効率化

羽根なし  
 攪拌装置採用  
**合成純度30%向上**  
 浜理薬品



浜理薬品工業（大阪  
 市東淀川区、高美時郎  
 社長、06・6322  
 ・0191）は、医薬  
 品全般の原薬となるア  
 ミノ酸などを用いたペ  
 プチド合成時に、かき  
 混ぜ部分に羽根のない  
 攪拌装置を採用した。  
 従来の羽根のある装置  
 と比べて合成純度の約  
 30%向上を確認したと  
 いう。同社のペプ  
 チド生産で30〜50  
 %程度の効率化に  
 つながら、商用生  
 産で一部活用を始  
 めている。

装置内のかき混  
 ぜ部分に羽根があ  
 り、固体と液体が混  
 り合う時にペプチド  
 が合成前に壊れてしま  
 う懸念があった。また  
 混ぜる際に壊れないよ  
 うスロー回転をする  
 と、固体と液体の反応  
 が悪くなることや固体  
 が沈んでしまうことが  
 あった。

同社は棒状の先端が  
 半球タイプの攪拌装置  
 を使うことで、一定速  
 度の回転でもアミノ酸  
 などを壊れにくくし  
 た。営業部の大谷隆部  
 長は「独自設計した容  
 器も開発した」と話  
 す。成果は日本ペプチ  
 ド学会でも報告してい  
 る。（電子版に動画  
 提供）